

## 2024(令和6)年度公共用水域の水質測定計画(案)について

「公共用水域常時監視の効率化及び重点化についての基本的考え方」(以下「効率化・重点化の基本的考え方」という。)を踏まえて、以下のとおり「2023年度公共用水域の水質測定計画」の測定回数等を変更し、「2024(令和6)年度公共用水域の水質測定計画」(以下「令和6年度水質測定計画」という。)を作成することとする。

## 「効率化・重点化の基本的考え方」に基づく変更

## (1) 水質

大阪府内で水質の常時監視を行っている河川 139 地点及び海域 22 地点について、過去5年間の水質の状況と「効率化・重点化の基本的考え方」を踏まえて、効率化及び重点化する測定地点を抽出し、測定回数等を変更した内容は表1のとおりである。また、ローリング調査対象地点も含め、表2のとおり、令和6年度水質測定における生活環境項目等項目別の変更内容を整理した。

表1 測定地点ごとの測定回数の変更内容

【河川】効率化(10地点)、重点化(34地点)

注：測定回数の変更欄の丸囲み(① ②)は数年に一度調査を実施するローリング調査であることを示す。円内の数字は測定回数を示し、「-」は測定を実施しないことを示す。

| 測定機関    | 河川水域名<br>又は河川名 | 環境基準<br>環境基準(水生生物の健全) | 測定地点                                      | 環境基準点  | 測定項目  | 測定回数の変更                  |   | 変更理由                                      | 表2該当番号                                     |   |   |   |
|---------|----------------|-----------------------|---|--|---|--------------------------|---|---|--|---|---|---|
|         |                |                       |   |  |   | 測定回数                     | 変更  |   |  |   |   |   |
| 近畿地方整備局 | 石川             | A                     | 生物B                                       | 石川橋  | ○   | 健康項目                     | 全シアン  | 減少  | 2 → ②                                      | 過去の検出状況等に基づく効率化(過去10年間報告下限値未達、3年ローリングに移行) | ④   |   |
|         |                |                       |   |  |   |                          | カドミウム、六価クロム、砒素、総水銀、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ベンゼン、セレン、1,4-ジオキサン(15項目) | 減少  | 2 → ②                                      | 過去の検出状況等に基づく効率化(過去10年間報告下限値未達、3年ローリングに移行) | ④   |   |
|         |                |                       |   |  |   |                          | PCB   | 減少  | 1 → ②                                      | 過去の検出状況等に基づく効率化(過去10年間報告下限値未達、3年ローリングに移行) | ④   |   |
|         |                |                       |   |  |   |                          | 1,3-ジクロロプロパン(D-D)、チウラム、シマジン(CAT)、チオベンカルブ(ベンチオカーブ)(4項目)  | 減少  | 1 → ②                                      | 過去の検出状況等に基づく効率化(過去10年間報告下限値未達、3年ローリングに移行) | ④   |   |
|         |                |                       |   |  |   | 特殊項目                     | フェノール類、溶解性マンガン、全クロム(3項目)  | 減少  | 1 → ②                                      | 過去の検出状況等に基づく効率化(過去10年間報告下限値未達、3年ローリングに移行) | ⑦   |   |
|         | 大和川中流          | C                     | 生物B                                       | 国豊橋  | ●   | ○                        | 健康項目  | セレン                                       | 減少   | 2 → ②                                     | 過去の検出状況等に基づく効率化(過去10年間報告下限値未達、3年ローリングに移行) | ④ |
|         |                |                       |   |  |   |                          | 健康項目  | 全シアン                                      | 減少   | 2 → ②                                     | 過去の検出状況等に基づく効率化(過去10年間報告下限値未達、3年ローリングに移行) | ④ |
|         |                |                       |   | カドミウム、六価クロム、総水銀、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ベンゼン、セレン、1,4-ジオキサン(14項目) | 減少  | 2 → ②                    |   | 過去の検出状況等に基づく効率化(過去10年間報告下限値未達、3年ローリングに移行) | ④  |   |   |   |
|         |                |                       |   | PCB  | 減少  | 1 → ②                    |   | 過去の検出状況等に基づく効率化(過去10年間報告下限値未達、3年ローリングに移行) | ④  |   |   |   |
|         |                |                       |   | 1,3-ジクロロプロパン(D-D)、チウラム、シマジン(CAT)、チオベンカルブ(ベンチオカーブ)(4項目)   | 減少  | 1 → ②                    |   | 過去の検出状況等に基づく効率化(過去10年間報告下限値未達、3年ローリングに移行) | ④  |   |   |   |
|         |                |                       |   | 要監視項目  | クロロホルム、フタル酸ジエチルヘキシル、アンチモン、全マンガン、ウラン(5項目)  | 減少                       |   | 2 → ②                                     | 過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間指針値の1/2以下、3年ローリングに移行) | ⑫   |   |   |
|         |                |                       |   |  | トランス-1,2-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロプロパン、p-ジクロロベンゼン、イソキサチオン、ダイアジノン、フェイトチオン(MEP)、イソプロチオラン、オキシシン銅、クロタロニル(TPN)、プロピザミド、EPN、ジクロロホルム(DDVP)、フェブカルブ(BPMC)、イロベンホス(BIP)、トルエン、キシレン、モリブデン、塩化ビニルモノマー(18項目) | 減少                       |   | 1 → ②                                     | 過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間指針値の1/2以下、3年ローリングに移行) | ⑫   |   |   |
|         |                |                       |   |  | 特殊項目  | フェノール類、溶解性マンガン、全クロム(3項目) |   | 減少  | 1 → ②                                      | 過去の検出状況等に基づく効率化(過去10年間報告下限値未達、3年ローリングに移行) | ⑦   |   |
|         |                |                       |   | 河内橋  | ○   | 健康項目                     | セレン   | 減少  | 2 → ②                                      | 過去の検出状況等に基づく効率化(過去10年間報告下限値未達、3年ローリングに移行) | ④   |   |
| 全シアン    | 減少             | 2 → ②                 | 過去の検出状況等に基づく効率化(過去10年間報告下限値未達、3年ローリングに移行) |  |   |                          | ④   |   |  |   |   |   |

| 測定機関    | 河川水域名<br>又は河川名 | 環境基準<br>(水生生物の<br>保全) | 測定地点   | 環境基準<br>地点  | 測定項目         |  | 測定回数<br>の変更  |       | 変更理由                                      | 表2<br>該当<br>番号  |   |
|---------|----------------|-----------------------|--------|-------------|--------------|--|--|-------|---|---|---|
|         |                |                       |        |             | 健康項目         | 特殊項目   | 測定回数   | 変更    |   |   |   |
| 近畿地方整備局 | 大和川中流          | C                     | 浅香新取水口 | ○           | 健康項目         | 全シアン   | 減少   | 2 → 0 | 過去の検出状況等に基づく効率化(過去10年間報告下限値未滿、3年ローリングに移行) | ④   |   |
|         |                |                       |        |             |              | カドミウム、鉛、六価クロム、総水銀、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ベンゼン、セレン、1,4-ジオキサン(15項目) | 減少   | 2 → 0 | 過去の検出状況等に基づく効率化(過去10年間報告下限値未滿、3年ローリングに移行) | ④   |   |
|         |                |                       |        |             |              | PCB  | 減少   | 1 → 0 | 過去の検出状況等に基づく効率化(過去10年間報告下限値未滿、3年ローリングに移行) | ④   |   |
|         |                |                       |        |             |              | 1,3-ジクロロロベン(D-D)、チウラム、シマジン(CAT)、チオベンカルブ(ベンチオカーブ)(4項目)  | 減少   | 1 → 0 | 過去の検出状況等に基づく効率化(過去10年間報告下限値未滿、3年ローリングに移行) | ④   |   |
|         | 大和川下流          | D                     | 生物B    | 遠里小野橋       | ○            | 健康項目   | 全シアン   | 減少    | 2 → 0                                     | 過去の検出状況等に基づく効率化(過去10年間報告下限値未滿、3年ローリングに移行)             | ④ |
|         |                |                       |        |             |              |  | カドミウム、六価クロム、総水銀、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ベンゼン、セレン、1,4-ジオキサン(14項目) | 減少    | 2 → 0                                     | 過去の検出状況等に基づく効率化(過去10年間報告下限値未滿、3年ローリングに移行)             | ④ |
|         |                |                       |        |             |              |  | PCB  | 減少    | 1 → 0                                     | 過去の検出状況等に基づく効率化(過去10年間報告下限値未滿、3年ローリングに移行)             | ④ |
|         |                |                       |        |             |              |  | 1,3-ジクロロロベン(D-D)、チウラム、シマジン(CAT)、チオベンカルブ(ベンチオカーブ)(4項目)  | 減少    | 1 → 0                                     | 過去の検出状況等に基づく効率化(過去10年間報告下限値未滿、3年ローリングに移行)             | ④ |
| 大和川中流   | C              | 生物B                   | 浅香新取水口 | ○           | 特殊項目         | ノルマルヘキサン抽出物質   | 増加   | 0 → 1 | 計画規定回数に合わせた増加                             | ⑥   |   |
|         |                |                       |        |             |              | 溶解性マンガン  | 減少   | 1 → 0 | 過去の検出状況等に基づく効率化(過去10年間報告下限値未滿、3年ローリングに移行) | ⑦   |   |
|         |                |                       |        |             |              | ノルマルヘキサン抽出物質   | 増加   | 0 → 1 | 計画規定回数に合わせた増加                             | ⑥   |   |
|         |                |                       |        |             |              | 溶解性マンガン  | 減少   | 1 → 0 | 過去の検出状況等に基づく効率化(過去10年間報告下限値未滿、3年ローリングに移行) | ⑦   |   |
| 大阪府     | 田尻川            | A                     | 生物A    | 兵庫県界        | ○            | 生活環境項目   | pH、DO、BOD、COD、SS、大腸菌数(6項目)   | 増加    | 4 → 12                                    | 過去の検出状況等に基づく重点化(生活環境項目の測定を効率化した地点でBODが環境基準を超過したため重点化) | ① |
|         | 山辺川            | A                     | 生物A    | 一庫・大路次川合流直前 | ○            | 生活環境項目   | pH、DO、BOD、COD、SS、大腸菌数(6項目)   | 増加    | 4 → 12                                    | 過去の検出状況等に基づく重点化(生活環境項目の測定を効率化した地点でBODが環境基準を超過したため重点化) | ① |
|         | 飛鳥川            | C                     | 生物B    | 円明橋         | ○            | 要監視項目  | PFOS及びPFOA   | 増減なし  | ① → 1                                     | 過去の検出状況に基づく重点化(暫定指針値を超過したため、3年ローリングから年1回へ)            | ⑨ |
|         | 今井戸川           | —                     | —      | 大和川合流直前     | ●            | 要監視項目  | 全マンガン  | 増減なし  | ① → 1                                     | 過去の検出状況に基づく重点化(指針値を超過したため、3年ローリングから年1回へ)              | ⑨ |
|         | 西除川(1)         | B                     | 生物B    | 狭山池合流直前     | ○            | 要監視項目  | PFOS及びPFOA   | 増減なし  | ① → 1                                     | 過去の検出状況に基づく重点化(暫定指針値を超過したため、3年ローリングから年1回へ)            | ⑨ |
|         | 土佐堀川           | B                     | 生物B    | 天神橋(左)      | ○            | 生活環境項目   | 大腸菌数   | 増加    | 4 → 12                                    | 計画規定回数に合わせた増加   | ② |
|         | 寝屋川(2)         | C                     | 生物B    | 今津橋         | ○            | 生活環境項目(水生生物)   | ノニルフェノール、LAS   | 増加    | 1 → 4                                     | 計画規定回数に合わせた増加   | ② |
|         |                |                       |        | 京橋          | ○            | 生活環境項目(水生生物)   | ノニルフェノール、LAS   | 増加    | 1 → 4                                     | 計画規定回数に合わせた増加   | ② |
| 古川      | C              | 生物B                   | 徳栄橋    | ○           | 生活環境項目(水生生物) | ノニルフェノール、LAS   | 増加   | 1 → 4 | 計画規定回数に合わせた増加                             | ②   |   |
| 平野川分水路  | C              | 生物B                   | 天王田大橋  | ○           | 生活環境項目(水生生物) | ノニルフェノール、LAS   | 増加   | 1 → 4 | 計画規定回数に合わせた増加                             | ②   |   |
| 平野川     | C              | 生物B                   | 南弁天橋   | ●           | 生活環境項目(水生生物) | ノニルフェノール、LAS   | 増加   | 1 → 2 | 計画規定回数に合わせた増加                             | ②   |   |
|         |                |                       | 城見橋    | ○           | 生活環境項目(水生生物) | ノニルフェノール、LAS   | 増加   | 1 → 4 | 計画規定回数に合わせた増加                             | ②   |   |

| 測定機関  | 河川水域名<br>又は河川名 | 環境基準<br>(水生生物の<br>保全) | 環境基準<br>(水生生物の<br>保全) | 測定地点        | 環境基準<br>地点 | 測定項目  |   | 測定回数<br>の変更 |                    | 変更理由  | 表2<br>該当<br>番号 |
|-------|----------------|-----------------------|-----------------------|-------------|------------|---|---|-------------|--------------------|---|----------------|
|       |                |                       |                       |             |            | 生活環境項目<br>(水生生物)  | 要監視項目   | 増加          | 減少                 |   |                |
| 堺市    | 西除川(2)         | C                     | 生物B                   | 大和川合<br>流直前 | ○          | 生活環境項目<br>(水生生物)  | ノニルフェノール、LAS  | 増加          | 1 → 4              | 計画規定回数に合わせた増加                                     | ②              |
|       |                |                       |                       |             |            | 要監視項目   | クロロホルム、トルエン、キシレン、モリブデン、アンチモン、塩化ビニルモノマー、エビクロロヒドリン、ウラン、フェノール(水生生物)、ホルムアルデヒド(水生生物) | 増加          | ① → ①              | 過去の検出状況等に基づく効率化(過去5検体以上、指針値の1/2以下のため、ローリング調査を②→①) | ⑫              |
|       |                |                       |                       |             |            |   | ニッケル  | 減少          | 2 → 1              | 計画規定回数より多いため減少                                    | ⑬              |
|       | 石津川            | B                     | 生物B                   | 新川橋         | ●          | 生活環境項目<br>(水生生物)  | 全垂鉛   | 増加          | 1 → 2              | 計画規定回数に合わせた増加                                     | ②              |
|       |                |                       |                       |             |            | 要監視項目   | PFOS及びPFOA  | 増加          | ① → 1              | 過去の検出状況に基づく重点化(暫定指針値を超過したため、3年ローリングから年1回へ)        | ⑨              |
|       |                |                       |                       | 石津川橋        | ○          | 要監視項目   | クロロホルム、トルエン、キシレン、モリブデン、アンチモン、塩化ビニルモノマー、エビクロロヒドリン、ウラン、フェノール(水生生物)、ホルムアルデヒド(水生生物) | 増加          | ① → ①              | 過去の検出状況等に基づく効率化(過去5検体以上、指針値の1/2以下のため、ローリング調査を②→①) | ⑫              |
|       |                |                       |                       |             |            | 要監視項目   | ニッケル  | 減少          | 2 → 1              | 計画規定回数より多いため減少                                    | ⑬              |
|       |                |                       |                       | 毛穴大橋        | ●          | 生活環境項目<br>(水生生物)  | ノニルフェノール、LAS  | 増加          | 1 → 2              | 計画規定回数に合わせた増加                                     | ②              |
|       |                |                       |                       |             |            | 要監視項目   | ニッケル  | 減少          | 2 → 1              | 計画規定回数より多いため減少                                    | ⑬              |
|       | 百済川            | —                     | —                     | 高入橋         | ●          | 要監視項目   | PFOS及びPFOA  | 増加          | ① → 1              | 過去の検出状況に基づく重点化(暫定指針値を超過したため、3年ローリングから年1回へ)        | ⑨              |
|       | 和田川            | B                     | 生物B                   | 小野々井橋       | ○          | 要監視項目   | クロロホルム、トルエン、キシレン、モリブデン、アンチモン、塩化ビニルモノマー、エビクロロヒドリン、ウラン、フェノール(水生生物)、ホルムアルデヒド(水生生物) | 増加          | ① → ①              | 過去の検出状況等に基づく効率化(過去5検体以上、指針値の1/2以下のため、ローリング調査を②→①) | ⑫              |
|       |                |                       |                       |             |            |   | ニッケル  | 減少          | 2 → 1              | 計画規定回数より多いため減少                                    | ⑬              |
| 岸和田市  | 春木川            | C                     | 生物B                   | 春木橋         | ○          | 要監視項目   | PFOS及びPFOA  | 増減なし        | ① → 1              | 過去の検出状況に基づく重点化(暫定指針値を超過したため、2年ローリングから年1回へ)        | ⑨              |
|       |                |                       |                       |             |            |   | 水生生物(全項目)5項目  | 減少          | 1 → ①              | 過去の検出状況に基づく効率化(過去5検体検出がないため2年ローリングへ移行)            | ⑫              |
| 高槻市   | 檜尾川            | A                     | 生物B                   | 警手社神社       | ○          | 生活環境項目<br>(水生生物)  | 全垂鉛   | 増加          | 2 → 4              | 計画規定回数に合わせた増加                                     | ②              |
|       |                |                       |                       |             |            |   | ノニルフェノール  | 増加          | 1 → 4              | 計画規定回数に合わせた増加                                     | ②              |
|       |                |                       |                       |             |            |   | LAS   | 増加          | 1 → 4              | 計画規定回数に合わせた増加                                     | ②              |
|       | 芥川(1)          | AA                    | 生物A                   | 塚脇橋         | ○          | 生活環境項目<br>(水生生物)  | 全垂鉛   | 増加          | 2 → 4              | 計画規定回数に合わせた増加                                     | ②              |
|       |                |                       |                       |             |            |   | ノニルフェノール  | 増加          | 1 → 4              | 計画規定回数に合わせた増加                                     | ②              |
|       |                |                       |                       |             |            |   | LAS   | 増加          | 1 → 4              | 計画規定回数に合わせた増加                                     | ②              |
| 女瀬川   | —              | —                     | 天堂橋                   | ●           | 要監視項目      | PFOS及びPFOA  | 増加  | 0 → 1       | 市域の状況確認のため測定       | ⑩   |                |
| 番田井路  | —              | —                     | 玉川橋                   | ●           | 要監視項目      | PFOS及びPFOA  | 増加  | 0 → 1       | 市域の状況確認のため測定       | ⑩   |                |
| 枚方市   | 船橋川            | B                     | 生物B                   | 新登橋上流       | ○          | 要監視項目   | PFOS及びPFOA  | 増減なし        | ① → 1              | 過去の検出状況に基づく重点化(暫定指針値を超過したため、2年ローリングから年1回へ)        | ⑨              |
|       | 藤本川            | —                     | —                     | 淀川合流直前      | ●          | 要監視項目   | PFOS及びPFOA  | 増加          | ① → 1              | 過去の検出状況に基づく重点化(暫定指針値を超過したため、2年ローリングから年1回へ)        | ⑨              |
|       | 穂谷川            | B                     | 生物B                   | 淀川合流直前      | ○          | 要監視項目   | PFOS及びPFOA  | 増減なし        | ① → 1              | 過去の検出状況に基づく重点化(暫定指針値を超過したため、2年ローリングから年1回へ)        | ⑨              |
|       | 黒田川            | —                     | —                     | 西ノ口樋門       | ●          | 要監視項目   | PFOS及びPFOA  | 増加          | ① → 1              | 過去の検出状況に基づく重点化(暫定指針値を超過したため、2年ローリングから年1回へ)        | ⑨              |
|       | 天野川            | B                     | 生物B                   | 淀川合流直前      | ○          | 要監視項目   | PFOS及びPFOA  | 増減なし        | ① → 1              | 過去の検出状況に基づく重点化(暫定指針値を超過したため、2年ローリングから年1回へ)        | ⑨              |
|       | 安居川            | —                     | —                     | 淀川合流直前      | ●          | 要監視項目   | PFOS及びPFOA  | 増加          | ① → 1              | 市域の状況確認のため測定                                      | ⑩              |
|       | 出口雨水幹線         | —                     | —                     | 市境          | ●          | 要監視項目   | PFOS及びPFOA  | 増減なし        | ① → 1              | 市域の状況確認のため測定                                      | ⑩              |
|       | 恩智川            | C                     | 生物B                   | 三池橋         | ●          | 要監視項目   | フタル酸ジエチルヘキシル、塩化ビニルモノマー、エビクロロヒドリン、4-tert-オクチルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール(6項目)       | 増減なし        | — → ①              | 新規項目追加(3年ローリングの開始)                                | ⑪              |
| 第二寝屋川 | D              | —                     | 巨摩橋                   | ●           | 要監視項目      | フタル酸ジエチルヘキシル、塩化ビニルモノマー、エビクロロヒドリン、4-tert-オクチルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール(6項目) | 増減なし  | — → ①       | 新規項目追加(3年ローリングの開始) | ⑪   |                |
| 第二寝屋川 | D              | —                     | 新金吾郎橋                 | ○           | 要監視項目      | フタル酸ジエチルヘキシル、塩化ビニルモノマー、エビクロロヒドリン、4-tert-オクチルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール(6項目) | 増減なし  | — → ①       | 新規項目追加(3年ローリングの開始) | ⑪   |                |
| 長瀬川   | —              | —                     | 第二寝屋川合流直前             | ●           | 要監視項目      | フタル酸ジエチルヘキシル、塩化ビニルモノマー、エビクロロヒドリン、4-tert-オクチルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール(6項目) | 増減なし  | — → ①       | 新規項目追加(3年ローリングの開始) | ⑪   |                |

【海域】既存のローリング調査により増減するもののみで、効率化又は重点化を行う地点はない。

表2 令和6年度水質測定における変更内容

|             |                |      |  | R6年度測定地点数<br>(R5年度測定地点数)   |              | 河川<br>139<br>(139)         | 海域<br>22<br>(22)   |                  |
|-------------|----------------|------|--|--|--------------|----------------------------|--------------------|------------------|
| 項目区分        | 測定回数<br>の変更内容  | 変更理由 | 項目名  | 変更地点数<br>【変更項目測定回数<br>(項目数×測定回数)】                                    |              | R6年度項目測定回数<br>(R5年度項目測定回数) |                    |                  |
|             |                |      |  | 河川   | 海域           | 河川                         | 海域                 |                  |
| 生活環境項目      | 増加             | ①    | 重点化<br>(過去の検出状況等から判断し回数を増やすもの)   | pH、DO、BOD、COD、SS、<br>大腸菌数  | 2<br>【+96】   | —                          | 12,278<br>(12,121) | 2,540<br>(2,540) |
|             |                | ②    | 計画規定回数に合わせた増加  | 大腸菌数、全亜鉛、ノニルフェノール、LAS  | 13<br>【+65】  | —                          |                    |                  |
|             | 減少             | ③    | 既存のローリング調査により増減するもの  | ノニルフェノール、LAS   | 1<br>【-4】    | —                          |                    |                  |
| 健康項目        | 減少             | ④    | 効率化<br>(過去の検出状況等から判断し、新規ローリング調査へ移行するもの)                                  | カドミウム、全シアン、鉛、<br>六価クロム等21項目  | 5<br>【-146】  | —                          | 7,065<br>(7,166)   | 710<br>(709)     |
|             | 増加             | ⑤    | 既存のローリング調査により増減するもの  | カドミウム、全シアン、総水銀等の26項目   | 7<br>【+163】  | 6<br>【+226】                |                    |                  |
|             | 減少             |      |  | カドミウム、全シアン、総水銀等の26項目   | 4<br>【-118】  | 5<br>【-225】                |                    |                  |
| 特殊項目        | 増加             | ⑥    | 計画規定回数に合わせた増加  | ノルマルヘキサン抽出物質   | 2<br>【+2】    | —                          | 2,805<br>(2,761)   | 2,671<br>(2,666) |
|             | 減少             | ⑦    | 効率化<br>(過去の検出状況等から判断し、新規ローリング調査へ移行するもの)                                  | フェノール類、溶解性マンガ<br>ン、全クロム  | 4<br>【-8】    | —                          |                    |                  |
|             | 増加             | ⑧    | 既存のローリング調査により増減するもの  | ノルマルヘキサン抽出物質、<br>フェノール類、銅、溶解性鉄、<br>溶解性マンガ、全クロム、<br>硝酸性窒素、亜硝酸性窒素      | 30<br>【+82】  | 12<br>【+61】                |                    |                  |
|             | 減少             |      |  | 24<br>【-32】  | 11<br>【-56】  |                            |                    |                  |
| 特定項目        | 変更なし           |      |  | —  | —            | 57<br>(57)                 | —                  |                  |
| 要監視項目       | 増加             | ⑨    | 重点化<br>(過去の検出状況等から判断し、<br>ローリング調査から毎年調査に<br>移行するもの)                      | 全マンガ、PFOS及び<br>PFOA  | 4<br>【+4】    | —                          | 1,579<br>(1,701)   | —                |
|             | 増減なし           |      |  |  | 7<br>【±0】    | —                          |                    |                  |
|             | 増加             | ⑩    | 市域の状況確認のため測定   | PFOS及びPFOA   | 3<br>【+3】    | —                          |                    |                  |
|             | 増減なし           |      |  |  | 1<br>【±0】    | —                          |                    |                  |
|             | 増減なし           | ⑪    | 新規ローリングの開始<br>(測定項目追加)   | 4-t-オクチルフェノール、<br>アニリン、2,4-ジクロロフェ<br>ノール等6項目                         | 4<br>【±0】    | —                          |                    |                  |
|             | 増加             | ⑫    | 効率化<br>(過去の検出状況等から判断し、<br>回数を減らしてローリング調査<br>を行うもの又は新規ローリング<br>調査へ移行するもの) | クロロホルム、フェノール等<br>10項目<br>トランス-1,2-ジクロロエチ<br>レン、1,2-ジクロロプロパン等<br>28項目 | 3<br>【+30】   | —                          |                    |                  |
|             | 減少             |      |  |  | 2<br>【-33】   | —                          |                    |                  |
|             | 減少             | ⑬    | 計画規定回数より多いため減少   | ニッケル   | 4<br>【-4】    | —                          |                    |                  |
|             | 増加             | ⑭    | 既存のローリング調査により増減するもの  | クロロホルム、トランス-1,2-<br>ジクロロエチレン等の全32<br>項目                              | 80<br>【+927】 | —                          |                    |                  |
| 減少          | 80<br>【-1,049】 |      |  |  | —            |                            |                    |                  |
| 測定検体数合計(水質) |                |      |  |  |              | 23,784<br>(23,806)         | 5,921<br>(5,915)   |                  |

(2) 底質

底質測定における変更内容は、既存のローリング調査により増減するもののみで、表3に示すとおりである。

表3 底質測定における変更内容

|              |                   |                     |                       | R6年度測定地点数<br>(R5年度測定地点数)          |             | 河川<br>50<br>(50)           | 海域<br>15<br>(15) |
|--------------|-------------------|---------------------|-----------------------|-----------------------------------|-------------|----------------------------|------------------|
| 項目区分         | 測定回数<br>の<br>変更内容 | 変更理由                | 項目名                   | 変更地点数<br>【変更項目測定回数<br>(項目数×測定回数)】 |             | R6年度項目測定回数<br>(R5年度項目測定回数) |                  |
|              |                   |                     |                       | 河川                                | 海域          | 河川                         | 海域               |
| 健康項目<br>一般項目 | 増加                | 既存のローリング調査により増減するもの | カドミウム・全シアン・鉛・pH等の15項目 | 12<br>【+24】                       | 5<br>【+110】 | 54<br>(54)                 | 110<br>(110)     |
|              | 減少                |                     | カドミウム・全シアン・鉛・pH等の15項目 | 12<br>【-24】                       | 5<br>【-110】 |                            |                  |